

とちぎ国際交流センター



■とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ、図書閲覧室はどなたでも自由にご利用できます。センター内ではwifiが無料で使用できます。また、図書、国旗などの貸し出しもしています。



■国際交流、国際協力、国際理解活動を行う団体の皆さまには、多目的ホール、研修室、会議室、企画展示室などを無料でお貸ししています。詳しくはTIAまでお問い合わせください。

開館日時：火曜～土曜 9:00～17:00
(日曜・月曜・祝日及び12月29日～1月3日は休館)

賛助会員への加入、寄付のお願い

TIAは、個人や企業の寄付金等により運営しています。ぜひ、TIAの事業活動に対し、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【賛助会員について(寄付金控除対象です)】

【年会費】
個人会員 3,000円
団体会員 10,000円(非営利法人・任意団体)
法人会員 30,000円(営利法人)
※会員期間は4月から翌年3月までの1年間(会計年度ごと)

【寄付に関する税制優遇措置について】

TIAに対する寄付金や賛助会費は、確定申告の際に、特定公益増進法人に寄付した場合に受けられる税制優遇措置が適用されます。

■法人の皆さま
寄付金や賛助会費は、一般寄付金とは別枠として、損金算入ができます。

■個人の皆さま
TIAは税額控除証明を受けていますので、寄付金や個人賛助会員は、確定申告の際、「税額控除」または「所得控除」のいずれかの選択が可能です。



公益財団法人 栃木県国際交流協会 Tochigi International Association (TIA)



事業案内



TIA 概要

- 設立 昭和63年(1988年)10月1日
- 目的 多文化共生の社会づくりと県民主体による国際交流・国際協力を促進するとともに、国際感覚豊かな人材の育成を図り、もって国際性豊かで魅力のある社会づくりに寄与することを目的とする。
- 沿革
 - ・昭和63年(1988年)10月1日 財団法人栃木県国際交流協会設立
 - ・平成2年(1990年)1月23日 自治大臣から地域国際化協会として認定
 - ・平成9年(1997年)11月10日 とちぎ国際交流センター開設
 - ・平成23年(2011年)4月1日 公益財団法人栃木県国際交流協会に移行
- 基本財産 298,000,000円 ※令和5年(2023年)4月1日現在

公益財団法人栃木県国際交流協会 Tochigi International Association (TIA)

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表)
028-627-3399 (相談専用/9:00～16:00)
028-621-0019 (とちぎ外国人材受入支援センター)
FAX 028-621-0951
URL <https://tia21.or.jp/>
業務時間 火曜～土曜 8:30～17:15
(日曜・月曜・祝日及び12月29日～1月3日は休業)



※県庁前バス停より徒歩5分/東武宇都宮駅より徒歩8分



多文化共生 社会づくり

1 情報収集事業

●ホームページや SNS、外国人キーパーソンネットワークを活用し、災害時における各種情報、地域における多文化共生・国際交流・国際協力・国際理解に関するイベント情報などを多言語で提供します。

2 相談事業

●「とちぎ外国人相談サポートセンター」を運営し、外国人住民の相談（在留、雇用、医療、福祉、出産、子育て、教育等）に多言語で対応します。また、「法律相談」、「在留資格・ビザ相談」、「精神保健相談」の3つの専門相談を定期的実施します。

●通訳・翻訳を行う「トランスレーターバンク」を運営し、要請に応じ登録者を紹介します。

3 人材育成事業

●災害時における外国人支援ボランティア、オンラインで日本語を教える日本語学習支援者、「やさしい日本語」の普及員、多文化共生関連事業の実務担当者、などの人材を育成するための研修会を実施します。

4 外国人支援事業

●TIA が発出する災害時における多言語情報を SNS 等で拡散してもらう「外国人キーパーソンネットワーク」を運営します。

●外国人留学生等のグローバル人材と海外展開を目指す県内中小企業をマッチングする「合同企業説明会」を実施します。

●外国人住民の介護分野への就職支援や介護職への定着化を促進するため、介護の仕事に役に立つ日本語の学習支援を行います。

5 多文化共生推進事業

●多文化共生の重要性を啓発するフォーラムを実施します。

●とちぎ国際交流センターを多文化共生社会づくりのための活動の場として国際交流団体に無償で貸し出します。

公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA) は、国籍や文化的背景の違いを認め合っ
て生きていくことができる、安全で住みやす
い多文化共生社会の実現のため、さま
ざまな事業を行っています。



国際交流

●県内の国際交流団体の活動をホームページで紹介します。

●市町国際交流協会と相互の連携・情報交換を図るため、連絡会議を実施します。

国際協力

●独立行政法人国際協力機構 (JICA) が TIA 内に配置する JICA 栃木デスクの活動を支援します。

●JICA と連携し、JICA 海外協力隊や JICA 教師海外研修・授業実践などの報告会を実施します。

国際理解

●外国人や海外協力隊経験者等による「国際理解講師バンク」を運営し、県内の小中高校や公民館等からの講師派遣の要請に応じて登録者を派遣します。

●県内で活動をしている国際交流団体等と協働し、県民の国際理解を促進する「とちぎグローバルセミナー」を実施します。

企業向け支援

「とちぎ外国人材受入支援センター」を運営し、企業の外国人材の円滑な受入れや適切な活用を支援します。

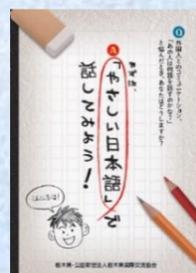
- 外国人材の雇用に関する相談
- 外国人材活用促進セミナーの開催

「やさしい日本語」



「やさしい日本語」は、相手に伝わるようにわかりやすく工夫した日本語のことをいいます。TIA はロゴマーク（左）を作成し、「やさしい日本語」の普及活動を行っています。

TIA では、多文化共生の社会づくりのために、このようなものを作っています！



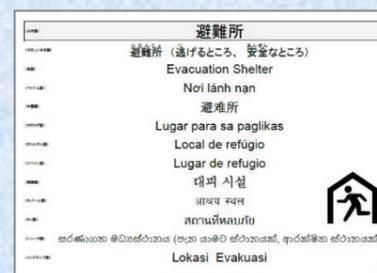
▲「やさしい日本語」で話してみよう！



▲外国人のための医療情報ハンドブック



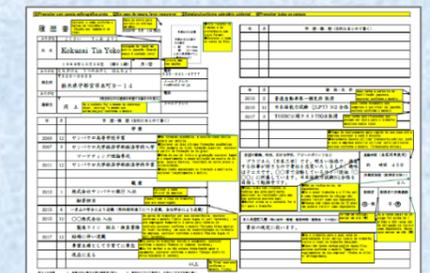
▲ホストファミリーの手引き



▲避難所用「多言語表示シート」



▲わたしの避難カード



▲履歴書の書き方

